



沿線地域の現状・課題



- 開かずの踏切による渋滞の発生、周辺道路の混雑**
- 踏切が通学路を遮断し通学児童や沿線に住む児童の安全性の低下**
- 踏切が避難路、緊急輸送道路を遮断し地域の安全や防災の妨げに**
- 公共交通機関の速達性、定時性の低下**
- 鉄道による地域分断が一体的なまちづくりを阻害**

●踏切遮断時間 (1時間最大)

46分 (向河原駅前)

42分 (鹿島田)

●踏切渋滞長 (最大)

315m (塚越)

230m (平間駅前)



●近隣の小学校数

下沼部小学校ほか8校 (踏切横断児童数 435人)

(下沼部小学校) ※平成27年度



●緊急輸送道路

・国道409号

・市道古市場矢上線

・県道大田神奈川



●踏切死亡事故

6件 (H19~24)

(H23 最大82分の遅れ)

(約12,000人に影響)

●踏切を横断するバス路線数

12路線 (合計649台/日)

(川崎市バス、臨港バス、東急バス)

※④⑤⑥⑦⑨踏切



●企業の経済活動や市民の交流を阻害

●回遊性やにぎわいの低下

